

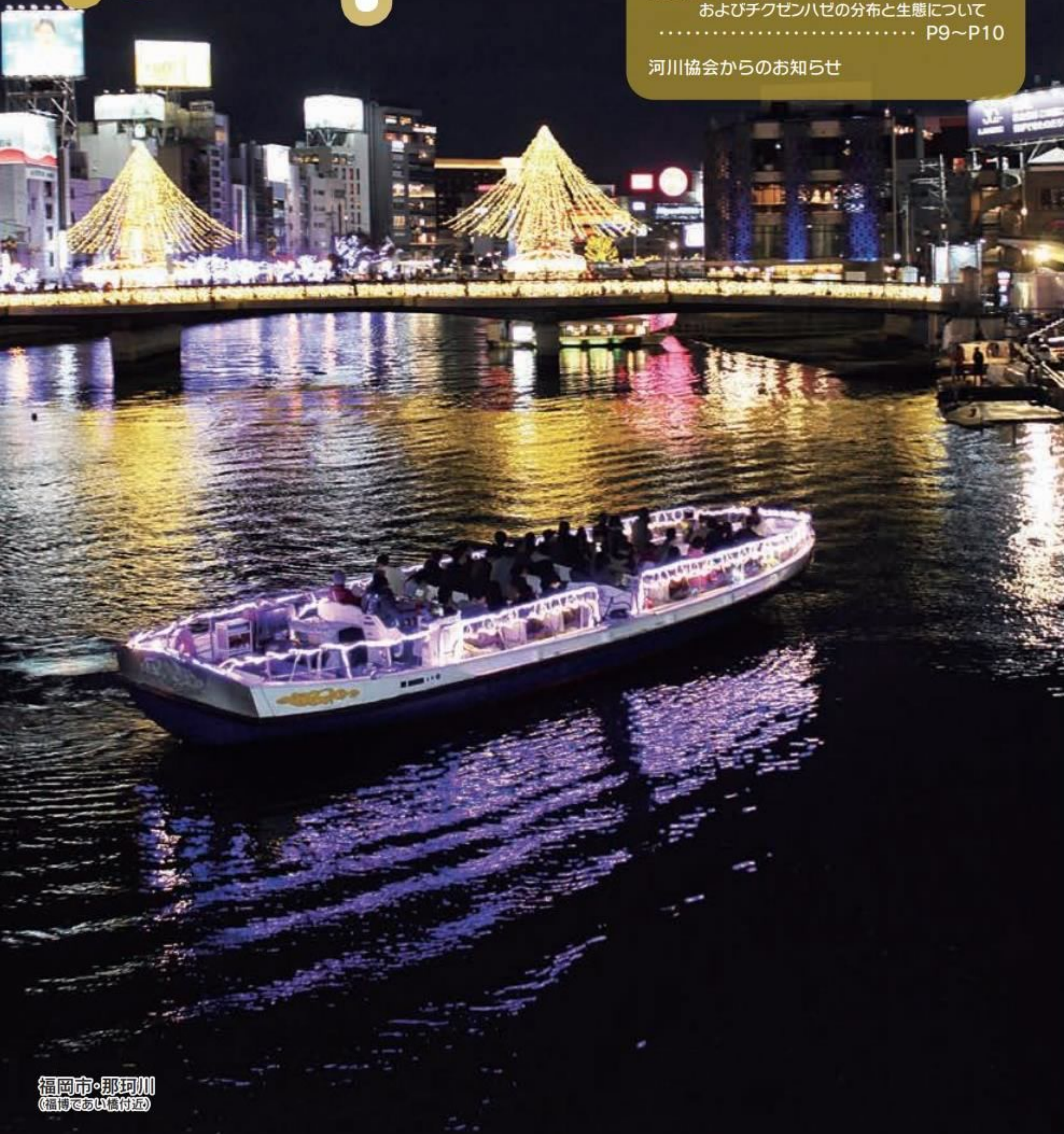
かわ

2024.1.1



vol.260 Contents

河川協会長新年挨拶……………P1
河川愛護絵画コンクール……………P2～P4
わがまちのかわ◎第56回桂川町……P5～P6
河川事業現地研修……………P7～P8
ふくおかの身近な川とさかなを知ろう！
No.15 エドハゼ、ニクハゼ、クボハゼ
およびチクゼンハゼの分布と生態について
……………P9～P10
河川協会からのお知らせ



年頭のご挨拶



新年あけまして おめでとうございます

福岡県河川協会

会長 よし 吉 だ 田 けん 健 いち 一 ろう 朗

福岡県議会県土整備委員会委員長：古賀市選出

新しい年を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が2類から5類に引き下げられ、制限のない日常が戻りました。

また、ワールドベースボールクラシック、バスケット、ラグビーのワールドカップで福岡県にゆかりのある選手らによる日本の活躍で大いに盛り上がりました。今年、夏のパリオリンピックでは新たなスターの誕生が期待されます。

一方で、地球環境に目を向けると温暖化の影響が大きくなり、日本でも各地で真夏日の日数が更新され、大雨や台風が猛威を振るい、死者や建物の全半壊など大きな被害が発生しました。秋以降は高温少雨傾向で、渇水による水不足が懸念される状況もあります。

福岡県でも、7月に全国で最多となる6回目の大雨特別警報が発表され、耳納山では1日で376ミリ、1時間で91.5ミリなど記録的な大雨となり、久留米市をはじめ朝倉市、広川町など県内各地で、家屋の浸水被害や土砂崩れによる被害が生じ、近年では平成29年災害に次ぐ被害となりました。被災された皆様に対し、心からお見舞い申し上げます。

現在、関係機関において災害復旧工事等が鋭意進められていますが、いつ起きるかわからない水害等から命を守るためには、日頃から必要な知識を習得し、適切な避難行動をとることが求められています。

福岡県河川協会では、災害復旧の迅速な実施に資するため、市町村職員等を対象とした災害復旧実務講習会や河川事業現地研修会を開催するなど、県や市町村の事業を支援する取組を行うとともに、河川について、ホームページや機関誌「かわ」による情報の発信にも努め、県民の皆様が安心して生活できる県土の形成に寄与してまいります。引き続き、皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

最後に、本年が皆様にとりまして素晴らしい年になりますよう祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

令和5年度

表彰式

河川愛護絵画コンクール



河川愛護事業
イメージキャラクター
よみガエルくん

第20回ふくおか水もり自慢in遠賀川において令和5年度福岡県河川愛護絵画コンクール表彰式が行われました。

特等の2名、一等の4名が出席され、受賞者には表彰状と表彰盾が、福岡県県土整備部河川管理課の今井課長から授与されました。

■ 日時：令和5年12月3日(日)13:00～

■ 場所：夢サイトかほ 嘉麻市大隈町1228-1

特等



低学年特等 上毛町立南吉富小学校
1年 北山 なるみさん

特等



中学年特等 豊前市立八屋小学校
4年 青山 千紗さん

特等



特等 集合写真

1等



一等 筑紫野市立二日市小学校
2年 尾越 菜花さん

1等



一等 北九州市立西門司小学校
3年 蔵重 貴久さん

1等



一等 行橋市立今川小学校
4年 上田 和凜さん

1等



一等 北九州市立松ヶ江南小学校
5年 永田 桜介さん

1等



1等 集合写真



受賞者の皆さん、おめでとうございます!!

過去の受賞作品はこちら

URL:<http://www.fukuoka-pref-kasen.jp/kasenkyokai/concours/>



令和5年度

河川愛護絵画コンクール

優秀作品の講評

義務教育課 指導主事 岩村 慶悟さん

特等

低学年



上毛町立南吉富小学校 1年 北山 なるみ さん

たくさんの色を使って、丁寧に彩色されています。魚のヒレやカニのはさみの様子もしっかりと観察して描かれていて、今にも動き出しそうですね。人物の表情や動きの違いも描き分けられていて、それぞれの気持ちがうかがえる楽しい作品です。

優雅に泳ぐカエルとそれを見つめる人物の表情の対比によって、ワクワクした一場面が見事に表現された作品です。水底に映るカエルの影や画面の外に広がる水面の表現も効果的です。どちらもカエル泳ぎ(平泳ぎ)というところも面白いですね。

特等

中学年



豊前市立八屋小学校 4年 青山 千紗 さん

淡い色調でありながら陰影を的確にとらえて彩色することで、人物や生き物、石などの立体感が見事に表現されています。特に、正面から描いた人物に見られる奥行き表現やザリガニなどに見られる「にじみ」を活かした質感の表現は、参考にしたいですね。

特等

高学年



北九州市立松ヶ江南小学校 5年 今村 桃子 さん



1 等作品



北九州市立西門司小学校 3年
蔵重 貴久 さん



宗像市立赤間小学校 1年
川野 葉 さん



筑紫野市立二日市小学校 2年
尾越 菜花 さん



行橋市立今川小学校 4年
上田 和凜 さん



北九州市立松ヶ江南小学校 5年
永田 桜介 さん



苅田町立南原小学校 6年
田中 美優 さん

2 等

1年	志免町立志免西小学校	高木 大地
	八女市立三河小学校	下川 由高
	豊前市立千束小学校	木下 心路
2年	北九州市立松ヶ江南小学校	丸谷 そうすけ
	久留米市立合川小学校	田中 葵
3年	飯塚市立上穂波小学校	松岡 潤
	みやま市立桜舞館小学校	菊池 能敬
4年	八女市立黒木小学校	大石 愛来
	苅田町立与原小学校	木村 秀斗
5年	行橋市立今川小学校	吉永 悠真
	宗像市立日の里西小学校	山口 璃乙
6年	春日市立須玖小学校	山本 泰正

3 等

1年	大牟田市立三池小学校	柴田 結彩
	豊前市立角田小学校	古森 智樹
	行橋市立今川小学校	山中 嵐太
	豊前市立千束小学校	熊本 碧
2年	豊前市立八屋小学校	福島 輝
	田川市立鎮西小学校	末吉 慶尚
	篠栗町立篠栗小学校	村嶋 勇人
3年	行橋市立行橋南小学校	天野 将真
	那珂川市立安德小学校	小田島 さら
	北九州市立松ヶ江南小学校	森元 美結
4年	大野城市立大和利小学校	井川 輝誉史
	筑紫野市立二日市小学校	川上 晴菜
	みやま市立桜舞館小学校	森 悠翔
5年	苅田町立与原小学校	鴨田 涼平
	飯塚市立伊岐須小学校	吉木 瑠唯
6年	久留米市立京町小学校	山田 詩音梨

6年	久留米市立山川小学校	権藤 吏桜
	宗像市立日の里西小学校	松山 颯琉

佳作

	志免町立志免西小学校	大塚 ひなた
	篠栗町立篠栗小学校	野田 咲陽
	古賀市立舞の里小学校	三浦 結菜
	柳川市立豊原小学校	櫻木 心結
1年	みやま市立高田小学校	まえはら えいと
	朝倉市立朝倉東小学校	高浪 翔輝
	筑後市立羽犬塚小学校	岩目後 充希
	宗像市立日の里西小学校	田原 智陽
	苅田町立片島小学校	寺崎 士紋
	古賀市立古賀西小学校	野田 琴乃
	篠栗町立篠栗小学校	三根 こゆき
	久留米市立田主丸小学校	小林 優心
	みやま市立桜舞館小学校	藤吉 潔和
	行橋市立仲津小学校	要 諒良
2年	筑後市立筑後小学校	安德 柚季乃
	福津市立津屋崎小学校	伊東 優音
	福津市立津屋崎小学校	渡辺 愛一朗
	宗像市立日の里西小学校	山中 翔太郎
	添田町立中元寺小学校	杉内 瑞稀
	那珂川市立岩戸北小学校	扇 ななせ
	志免町立志免西小学校	高亀 美心
	志免町立志免西小学校	佐藤 ななみ
	篠栗町立篠栗小学校	白石 明莉
3年	大牟田市立天領小学校	松崎 光希
	築上町立築城小学校	松本 帆乃
	豊前市立千束小学校	森田 琉叶
	八女市立福島小学校	江頭 太陽
	北九州市立松ヶ江南小学校	福島 ゆ月

	北九州市立松ヶ江南小学校	田守 風奏
	北九州市立松ヶ江南小学校	ながまつ あゆむ
3年	宗像市立吉武小学校	小浦 輝
	飯塚市立庄内小学校	大平 ゆず
	大野城市立大和利小学校	永田 みつき
	久留米市立田主丸小学校	永井 数磨
	柳川市立二ッ河小学校	三砂 愛莉
	柳川市立矢留小学校	古賀 蓮香
	豊前市立千束小学校	熊本 遥陽
4年	みやこ町立久保小学校	井上 逸清
	苅田町立片島小学校	山本 耀斗
	八女市立黒木西小学校	三宅 真代
	田川市立鎮西小学校	末吉 香陽
	大野城市立大和利小学校	有馬 朱里
	篠栗町立篠栗小学校	吉原 莉乃亜
	柳川市立城内小学校	古賀 舜
	みやま市立瀬高小学校	板橋 咲瑠
5年	豊前市立八屋小学校	大江 葉子
	行橋市立今川小学校	山中 涼雅
	苅田町立与原小学校	塚本 杏梨
	北九州市立松ヶ江南小学校	井手 友莉奈
	篠栗町立篠栗小学校	細川 優菜
	久留米市立山川小学校	水田 葉華
	大牟田市立天領小学校	中島 早希
	柳川市立二ッ河小学校	江崎 飛颯
6年	柳川市立昭代第一小学校	佐藤 心結
	北九州市立松ヶ江南小学校	井尻 鈴華
	宗像市立日の里西小学校	西田 眞子
	大野城市立大和利小学校	中村 茜
	那珂川市立岩戸北小学校	川越 万裡娃

令和6年度も河川愛護絵画コンクールを行う予定です。学校を通じて募集をおこないますので、皆様ぜひご参加ください。

スケジュール(予定)

案内 / 令和6年5月下旬頃、応募締切 / 令和6年9月初め、入賞者決定 / 令和6年10月頃、表彰式(特等、1等のみ) / 令和6年12月頃

郷土ふるさと 福岡の河川を知る わがまちのかわ



第56回 桂川町



夜明けの穂波川

桂川町の概要

桂川町は、福岡県中央部にあたり、南東部は嘉麻市、北西部は飯塚市に囲まれた東西約4km南北約8km、総面積20.14km²を有する町であります。

町内西側には三郡山山腹からの水系である馬敷川、また、冷水峠から国道200号とほぼ平行して流れている穂波川があり、どちらも主に水田として利用されています。一方、町の中央部には泉河内川が南北方向にゆるやかに流れており、流域には土師浄水場があり、農業用水としても広域的に利用されています。

町の南西部には山頂標高377mの弥山岳、南東部には山頂標高311mの長谷山があり、この谷間を流れる泉河内川上流部の内山田地区では初夏にホタルを見ることができます。

桂川町には装飾古墳として国の特別史跡第1号に指定されている『王塚古墳』(築造当時全長86m前方後円墳 6世紀前半築造)があり、石室内部は全面が彩色豊かな装飾で彩られるなど、他に類を見ない貴重な文化遺産であります。この周辺には有力者の古墳が多く、穂波川東岸の丘陵最高所に位置する金比羅山

古墳(全長81m前方後円墳 3世紀末～4世紀初頭築造)また、国道200号沿いの豆田天満宮には天神山古墳(全長68m前方後円墳 6世紀中頃築造)があり、古墳時代における歴代の有力者にとって、この穂波川が重要な存在であったことを物語っています。このような町を象徴する王塚古墳は令和3年にリニューアルしたJR桂川駅から徒歩8分と非常に近く、駅から福岡都市圏(博多駅)まで34分で行くことのできるアクセスの良さは桂川町の魅力となっています。



泉河内川

王塚古墳



「王塚古墳」は六世紀前半に造られたと考えられる、前方後円墳です。
その豪華絢爛さはわが国における装飾古墳の頂点として昭和27年に国の特別史跡に指定されています。

王塚装飾古墳館



- 開館時間 午前9時～午後4時30分
- 休館日 毎週月曜日※月曜日が祝日の場合はその翌日、12月29日～1月3日
- 入館料 大人330円(270円)、
中高生160円(130円)、
小学生110円(80円)

keisenまちプラザ



筑豊の玄関口「桂川駅」の1階にある同施設は、本町のPR動画、チラシ等を配架し桂川町の情報発信拠点としての役割を担っております。また、定期的に町内各団体からの作品展示等も実施し、駅利用者の休憩スペースや憩いの場としての機能も有しております。

グラウンドゴルフ場



桂川町の土師にある老松神社は、大国神主と学問の神様である菅原道真公をお祀りする神社です。毎年、春の例祭や秋の大祭には壮大優美な県指定無形民俗文化財の土師の獅子舞が舞われます。

土師老松神社



天然高麗芝のコースで、AからDまでの4コース・32ホールあります。このコースの特長は、ハザード(障害物)となるバンカー(砂地)や築山、樹木等がゴルフコースと同じように配置されていることです。

ゆのうら体験の杜



各種研修やレクリエーションでの利用、様々な自然体験への参加、調理・加工室での特産品開発、調理実習といった利用が可能です。宿泊室やシャワー室を備え日帰りだけでなく、宿泊利用も可能で、1年を通して町内外問わずどなたでもご利用いただける施設となっています。

河川事業現地研修会(広島県)に参加して

大刀洗町役場 建設課 主任主事 長岡 達也



【一級河川太田川水系三篠川災害復旧助成事業】

令和5年11月14日から2日間にかけて福岡県及び県内市町村の職員など総勢23名で、平成30年7月豪雨災害で甚大な災害に見舞われた広島県(三原市・広島市)を視察致しました。

1日目は、広島県土木建築局河川課職員の方から二級河川沼田川水系沼田川とその支川に係る「沼田川河川激甚災害対策特別緊急事業」について、2日目は広島県西部建設事務所職員の方から一級河川太田川水系三篠川に係る「災害復旧助成事業」について説明をしていただきました。

それぞれ、貴重な体験談や取組みをご教示いただいたのですが、本稿では、太田川水系三篠川(みささがわ)について、報告させていただきます。

三篠川流域では、平成30年7月6日昼過ぎから7日朝にかけて大雨となり、特に多いところでは、24時間雨量が300mm以上を観測し、累加雨量400mmを超え、氾濫危険水位(1.85m)を超過し、近年の最高水位(2.26m)を観測しました。

この降雨により、広範囲において溢水や越水による家屋等の流出、護岸崩壊、橋梁の損壊といった甚大な被害が発生し、氾濫シミュレーション結果によると、県管理区間における浸水面積は約234.5ha、浸水家屋は343戸、護岸等施設被害については48箇所と約19kmまでに及び、多くの住民生活に多大な影響を及ぼしました。

これらの復旧に対して、改修箇所5区間計7.5kmについて、災害復旧事業による原形復旧のみでは事業効果が限定され、同程度の洪水によって、同様の被害が発生する恐れがあることから、改良復旧により流下能力を向上させ、本災害発生時の洪水相当の流量を河道内で流すために、河道拡幅や河床掘削等を行い、家屋浸水被害の解消を図っている事業ということを教えてくださいました。

この視察を通して、被災発生時から今現在に至るまで、広島県職員の方の「再度災害を防ぎ、住民の安全安心な生活を守る」という強い意志と懸命な取組みを学ばせていただき、改めて公共土木施設管理者として防災減災に携わる私たちの仕事の責任を強く感じました。私自身災害復旧事業等は未経験であるため、今後起こりうる災害に迅速に対応するため、様々な場面に適応できるように備えておくことがより一層必要だと感じました。

最後に、多忙な業務の中、現地での案内や説明をしていただきました広島県及び本研修に係る皆様に感謝申し上げ、報告とさせていただきます。

河川事業現地研修会(広島県)に参加して

宮若市 土木建設課 課長補佐 青木 幸雄

令和5年11月14日から15日にかけて開催されました、「令和5年度河川事業現地研修会」に参加しました。広島県に甚大な被害をもたらした、平成26年8月豪雨、平成30年7月豪雨に伴う被災状況やその後の復興について広島県に伺いました。

1日目の視察では、広島県東部建設事務所三原支所において、二級河川沼田川水系沼田川河川激甚災害対策特別緊急事業について説明を受けました。温帯低気圧からのびる梅雨前線が西日本に停滞し、暖かく湿った空気が流れ込んだため、広島県では6日昼過ぎから7日朝にかけて大雨となり、大雨特別警報が発表された、平成30年7月6日12:00~7月7日12:00の24時間雨量は、南西部、南東部、北東部で200mm以上を観測し、北東部の特に多いところでは、250mm以上、南西部の特に多いところでは350mm以上を観測し、広島県全域のほとんどの河川が被災しておる中で、通常の災害復旧を行っているだけでは、とてもじゃないけれども、人員も無いし、方向性も定まらないとのことから、学識経験者を含む10名で構成された「平成30年7月豪雨災害を踏まえた今後の水害・土砂災害対策のあり方検討会」が立ち上げられ、平成30年7月豪雨と同程度の流量となっても被害が発生しないよう、緊急的集中生的に治水機能を図るため、河道掘削、改築(築堤工・擁壁工)、井堰の撤去、改築等を実施し、全体事業費約53億円、事業期間は平成30年~令和5年度で実施しているとの説明を受けました。

2日目の視察では、広島市豪雨災害伝承館への見学を行い、市域北部に位置する安佐南区、安佐

北区内において、平成26年8月19日夜から20日明け方にかけて、日本海に停滞する前線に暖かく湿った空気が流れ込み24時間累積が247mmから287mmと言う観測史上最大な豪雨が発生し、土石流や急傾斜地崩壊(がけ崩れ)の発生しやすい地形的・地質的特性と相まって多数の災害から、安佐南区及び安佐北区では、土石流により甚大な被害が出ました。建物被害は全壊179棟、半壊217棟を含めて、合計4749棟、人的被害は死者が直接74名、災害関連死3人の合計77人、負傷者69人でした。二度とこうした災害が起きないように、経験と教訓の情報を発信し続ける拠点をこの地に設けることを決意し、こうしてできた広島市豪雨災害伝承館であり、経験を語り継ぎ、防災減災の知識を深め、創造力をあらかじめ育てておけば、もしもの時に、自分の命、大切な人の命を守るとの強い思いから、被災者が語りべとして皆さんにお話をし、当時の様子をより深く皆さんにお伝えするという目的で活動を続けているとのことでした。

今回の視察では、甚大な被害を受けた後、再び災害による被害が発生する前に治水対策を実施する事前防災に努め、自治体の方々や、広島市民が連携し、「被災地域の復興まちづくり」を迅速に進めておられることに敬意を表するとともに、あれためて防災減災に携わる私たちの仕事の責務を強く感じました。最後に、ご多忙の中、現地視察の対応をして頂きました広島県庁の皆様、広島市豪雨災害伝承館の皆様と、今回の機会を設けて頂いた福岡県河川協会の皆様に厚く御礼申し上げます。



【沼田川河川激甚災害対策特別緊急事業の概要説明及び現地説明】

ふくおかの身近な川と さかなを知らろう！

No.15

いぬい
乾
りゅう てい
隆 帝

エドハゼ、ニクハゼ、クボハゼおよびチクゼンハゼの分布と生態について

乾です。前号では、河川水辺の国勢調査のデータを用いて、トビハゼ、ツマグロスジハゼおよびマサゴハゼの全国における分布パターンと生態の関係性について書いていきました。今号も引き続き、ハゼ類の分布と生態について、分布河川数の多かった順に説明していきたいと思います。

1992年から2017年までのデータを集計した結果、生息する水系の数が17番目に多かった種がエドハゼ *Gymnogobius macrognathos* (図1)です。109水系中24水系で生息が確認されました(図2)。エドハゼは、全長が約5cm程度の魚です(岩田 2005)。本種は、北は宮城県の鳴瀬川から、南は宮崎県の大淀川まで分布しています。本種は、伊勢湾や瀬戸内海、有明海などの大規模な湾に流入する河川では比較的多くの河川から確認されているのですが、東北地方や関東地方、九州の太平洋流入河川では、外海に流入する河川からも確認されているのが特徴です。また、本種は北海道や本州の日本海では、汽水湖から確認されることが多いです(邊見ほか 2018)。

生息する水系の数が18番目に多かった種がニクハゼ *Gymnogobius heptacanthus* (図3)です。109水系中23水系で生息が確認されました(図4)。ニクハゼは、全長7cm程度の魚です(鈴木・渋川 2021)。本種は、北は宮城県の北上川から、南は宮崎県の大淀川まで分布しています。本種の分布域はエドハゼに比較的似ていますが、外海に流入する河川からはほとんど確認されていません。本種は、目立った流入河川のない内湾で見られることもあります。

生息する水系の数が19番目に多かった種がクボハゼ *Gymnogobius scrobiculatus* (図5)です。109水系中19水系で生息が確認されました(図6)。クボハゼは、全長5cm程度の魚です(鈴木・渋川 2021)。本種は、北は兵庫県の大淀川から、南は宮崎県の大淀川まで分布しています。本種の分布域は、エドハゼやニクハゼとは違い、西日本に偏っているのが特徴です。また、伊勢湾南部や瀬戸内海、大分県から宮崎県にかけての豊後水道および太平洋では、比較的多くの河川から確認されています。なお、本種は琉球列島からは、これまで確認されていません。

エドハゼ、ニクハゼおよびクボハゼと同属のチクゼンハゼ *Gymnogobius uchidai* (図7)についても本号で紹介しておきたいと思います。109水系中13水系で確認されました(図8)。生息水系数は、チワラスボ、ノボリハゼに続く22番目です。チクゼンハゼは、全長5cm程度の魚です(鈴木・渋川 2021)。本種は、北は宮城県の北上川から、南は宮崎県の大淀川まで分布しています。分布域は比較的広域なのですが、分布河川は少なく、西日本に限っては比較的クボハゼに似た分布パターンをしています。また、本種は本州の日本海では、汽水湖から確認されることもあります。

今号で紹介した4種はウキゴリ属の魚類で、産卵場や避難場としてアナジャコ類やスナモグリ類の巣穴を利用するという



図1 エドハゼ

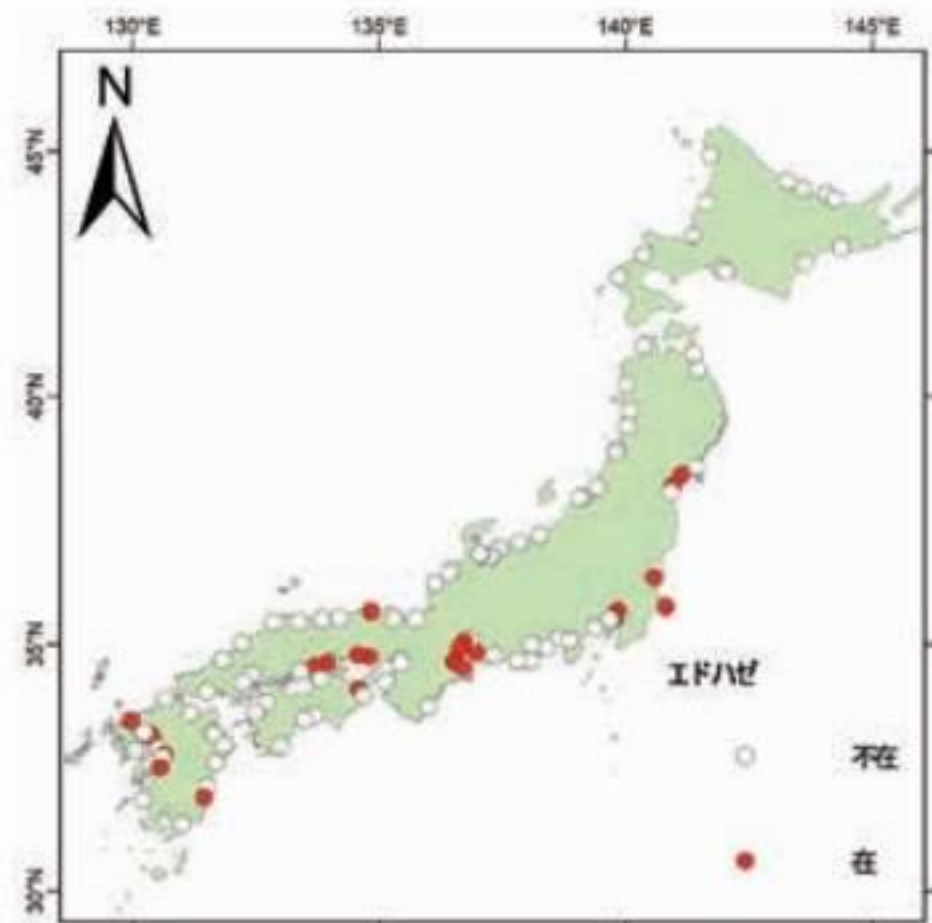


図2 エドハゼの生息河川

共通の生態を持っています(道津 1954、道津1957、道津 1961、乾ほか2011、Koyama et al. 2017、Henmi et al. 2018)。しかしながら、様々なスケールの生息環境で、種間で違いがあることが知られています。例えば、ニクハゼが他の3種よりも比較的浅場に主に生息していることや、生息場所の底質の粒度の大きさが種にとって異なる(エドハゼ<チクゼンハゼ<クボハゼ)こと、同所的に出現する甲殻類の傾向が異なること(エドハゼはアナジャコ、ニホンスナモグリおよびヨコヤアナジャコ、チクゼンハゼはアナジャコとニホンスナモグリ、クボハゼはヨコヤアナジャコと同所的に出現する)(Inui et al. 2018)等が知られています。また、卵径や孵化直後の仔魚のサイズも種によって異なるため、浮遊期の生態も異なる可能性があります。今号で紹介した4種の全国での分布パターンは、これらのような生態や生息環境の違いが複合的に作用した結果、少しずつ異なっているのだらうと思われる。



図3 ニクハゼ



図7 チクゼンハゼ

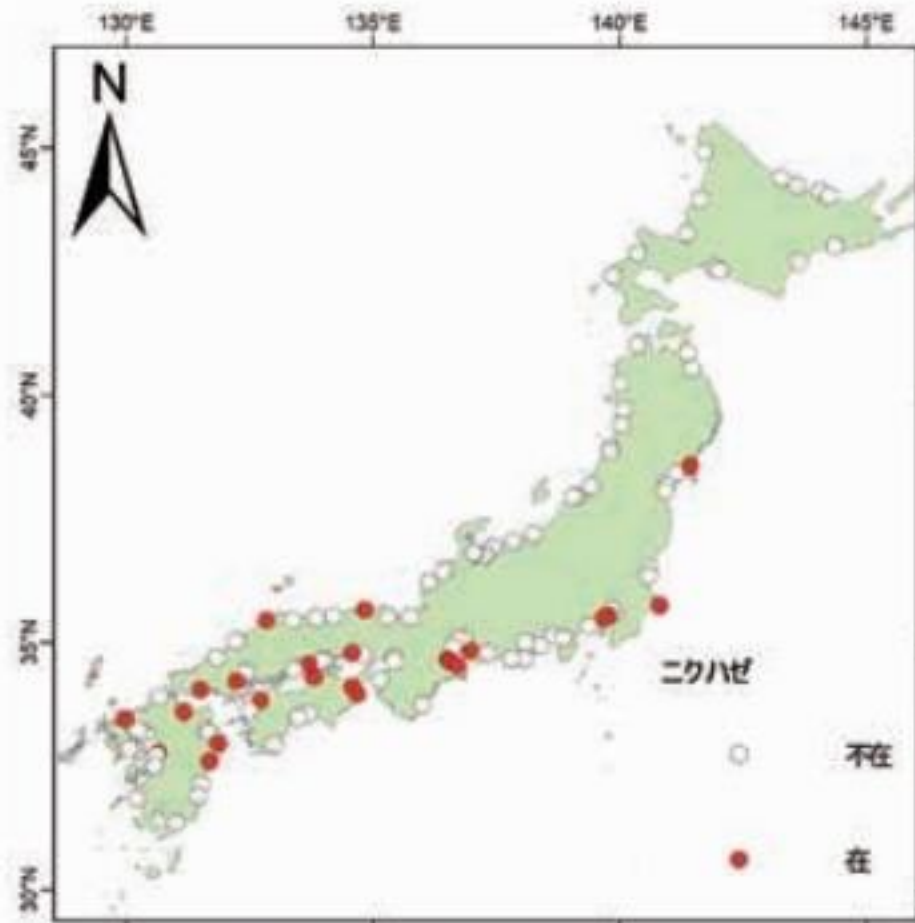


図4 ニクハゼの生息河川

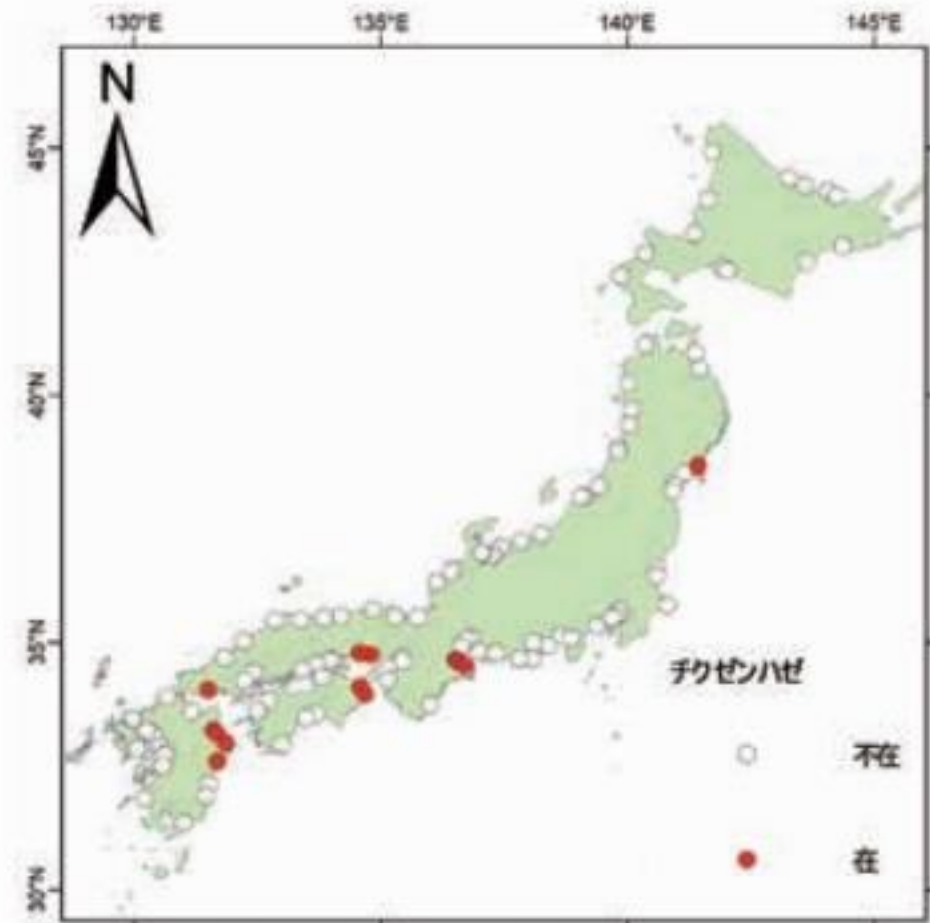


図8 チクゼンハゼの生息河川



図5 クボハゼ

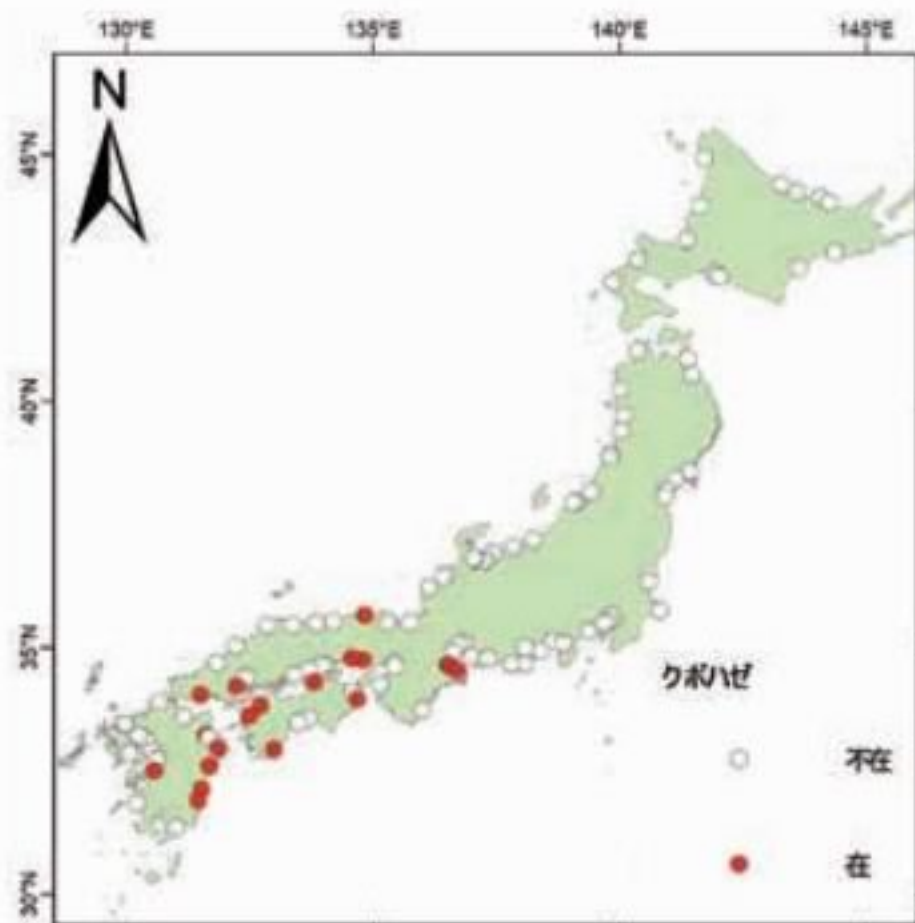


図6 クボハゼの生息河川

謝辞：河川水辺の国勢調査のデータは、公益財団法人 リバーフロント研究所からご提供いただきました。厚く御礼を申し上げます。

引用文献：

- 岩田明久：エドハゼ、山溪カラー名鑑 日本の淡水魚、山と溪谷社、2005
- 暹見由美・乾 隆帝・後藤龍太郎・伊谷 行：北海道厚岸郡におけるエドハゼ *Gymnogobius macrognathos* の記録およびアナジャコの巣穴利用、魚類学雑誌 65, pp. 199-204, 2018
- 鈴木寿之・波川浩一：新版 日本のハゼ、平凡社、2021
- 道津喜衛：ピリンゴの生活史、魚類学雑誌3, 133-138, 1954
- 道津喜衛：チクゼンハゼの生態・生活史、魚類学雑誌6, 97-104, 1957
- 道津喜衛：クボハゼの生態・生活史、長崎大学水産学部研究報告10, 127-131, 1961
- 乾 隆帝・品田裕輔・川岸基能：津屋崎入江におけるピリンゴ *Gymnogobius breunigii* (Steindachner, 1880) とチクゼンハゼ *G. uchidai* (Takagi, 1957) の産卵状況、日本生物地理学会会報 66, pp. 165-171, 2011
- A. Koyama, R. Inui, K. Umemura, M. Wakabayashi, K. Kanno, N. Onikura: The first record of the spawning nest of *Gymnogobius cylindricus* and *Gymnogobius macrognathos*, Ichthyological Research 64, 261-263, 2017
- Y. Henmi, K. Eguchi, R. Inui, J. Nakajima, N. Onikura, G. Itani: Field survey and resin casting of *Gymnogobius macrognathos* spawning nests in the Tatara River, Fukuoka Prefecture, Japan, Ichthyological Research 65, 168-171, 2018
- R. Inui, A. Koyama, Y. Akamatsu: Abiotic and biotic factors influence the habitat use of four *Gymnogobius* (Gobiidae) species in riverine estuaries in the Seto Inland Sea, Ichthyological research 65, pp. 1-11, 2018

いぬい りゅう てい
乾 隆帝 - RYUUTEI INUI -

- 福岡工業大学 社会環境学部 社会環境学科 教授
- 応用生態工学会編集委員
- 土木学会水工学論文編集委員
- 環境省レッドリスト検討委員
- 主な著書／
- レッドデータブック2014 4 汽水・淡水魚類—日本の絶滅のおそれのある野生生物—(2015)
- 魚類 福岡県の希少野生生物—福岡県レッドデータブック2014(2014) など

河川協会からのお知らせ



【吉田会長から廣瀬水管理・国土保全局長に要望書が提出されました。】

【福岡県河川協会の要望活動】

福岡県河川協会は、通常総会において決議された災害復旧及び防災事業等の促進について、令和5年10月30日(月)国土交通省・地元選出の国会議員の方々へ要望活動を行いました。

福岡県では、平成29年から令和3年まで5年連続、さらに今年も大雨による甚大な被害が発生しました。

このため、災害からの早期復旧及び災害防止対策の推進、安定的な予算確保等について要望いたしました。

【令和5年度 治水事業促進全国大会】

令和5年11月9日(木)、治水事業促進全国大会が開催され、福岡県からは36市町村が参加されました。

また、片田敏孝東京大学特任教授から「激甚化する豪雨災害に「流域」で向かい合う」について特別講演が行われました。

原口新五久留米市長から、流域治水の取り組みと令和5年7月梅雨前線大雨に関する意見発表が行われました。

その後、「治水関係事業の促進について」決議が行われ、地元選出国会議員の方々への要望活動を行いました。



【令和5年度 災害復旧促進全国大会】

令和5年11月10日(金)、災害復旧促進全国大会が開催され、福岡県からは9市町村が参加されました。

国土交通省水管理・国土保全局防災課長から災害対策概況について説明があり、また、令和5年度災害復旧及び災害防止事業功労者表彰が行われました。

その後、「災害復旧促進に関する決議」が行われ、地元選出国会議員の方々へ要望活動を行いました。



編集 後記

河川協会では、秋の重要イベントである要望活動、全国大会、河川事業現地研修を実施しました。広島県の関係職員の皆様には大変お世話になりました。

インフルエンザが流行しているようです。ウイルスに負けない体づくりで、冬を元気に過ごしましょう。

(植村・北川)

◆ STAFF

発行・編集 福岡県河川協会(福岡県県土整備部河川管理課内)
〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7
TEL:092-633-2826(直通)
FAX:092-643-3669

企画 アロー印刷株式会社

福岡県河川協会ホームページ

<http://www.fukuoka-pref-kasen.jp/kasencyokai/>

